



②



OOTA

GISUKE OTA

center@will-design.co.jp
<http://www.will-design.co.jp>

——— お知らせ ———

只今、下記ホームページにて
特集『お部屋に飾りたくなる新しい画』をまとめて掲載中です。
ぜひご覧くださいませ。

<http://www.aa.em-net.ne.jp/~will-ota>

OOTA

GISUKE OTA

ようこそ!《文字をリードする画本》第2巻の世界へ。

文字、特に[漢字]を見て感じイメージしたことを(グラフィック)な表現で綴った(ビジュアル画本)です。
ゆっくりと、のんびりとながめていただき、ここから新たなイメージを膨らませていただければ幸いです。

文字、特に[漢字]を見ていると色々な感情が走る。
どんどんイメージが広がっていく。
文字を見ているというより[画]を見ている感情と同じである。
それというのも漢字には三千数百年というそれは長い歴史を刻んできた現実があり、人間の思考が詰まりに詰まった一つの結果を見ているからかと思う。
また、同時に完成された漢字でも、こちらの無知さ故の勝手な想いの巡りにも漢字は万人を受け入れてくれる寛容さがある。
それに甘えてイメージはどんどん広がる。
ともあれ、文字には人の心を動かす力を備えている。

そんな、どんどん湧いてきたイメージや思考を「文字学」のような難しい話に展開するのではなく、視覚で感じたことを視覚でそのまま受け入れられる「楽しくーそしてー美しく少し思考する」そんな視覚に重きをおいて漢字という世界を新たなセンスで展開してみました。

ごゆっくりお楽しみ下さい。

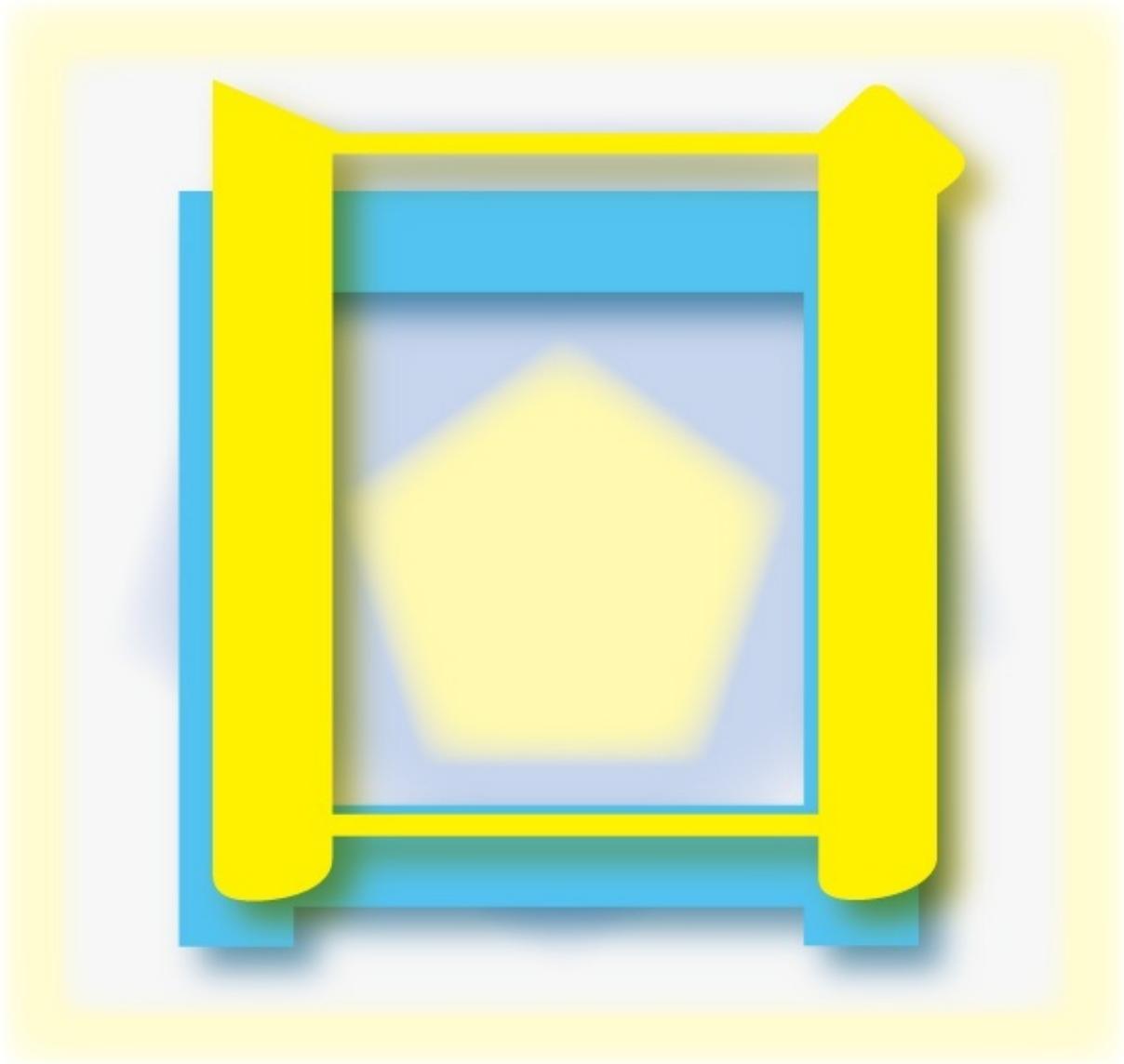
OTA
GISUKE OTA



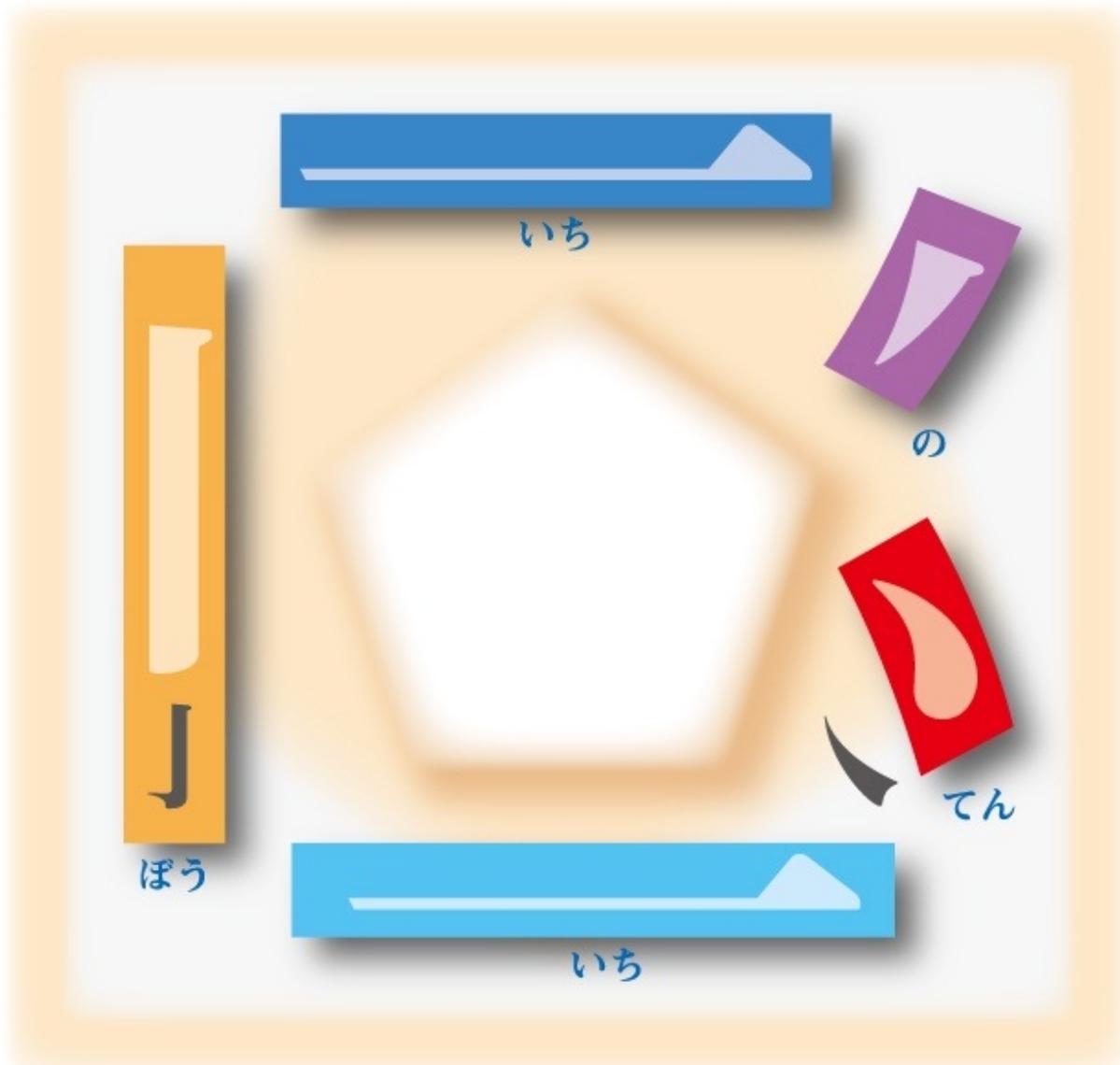
〔女〕が〔家〕にいて家庭は〔安心〕



〔夫〕が〔一人〕で家庭は〔充実〕

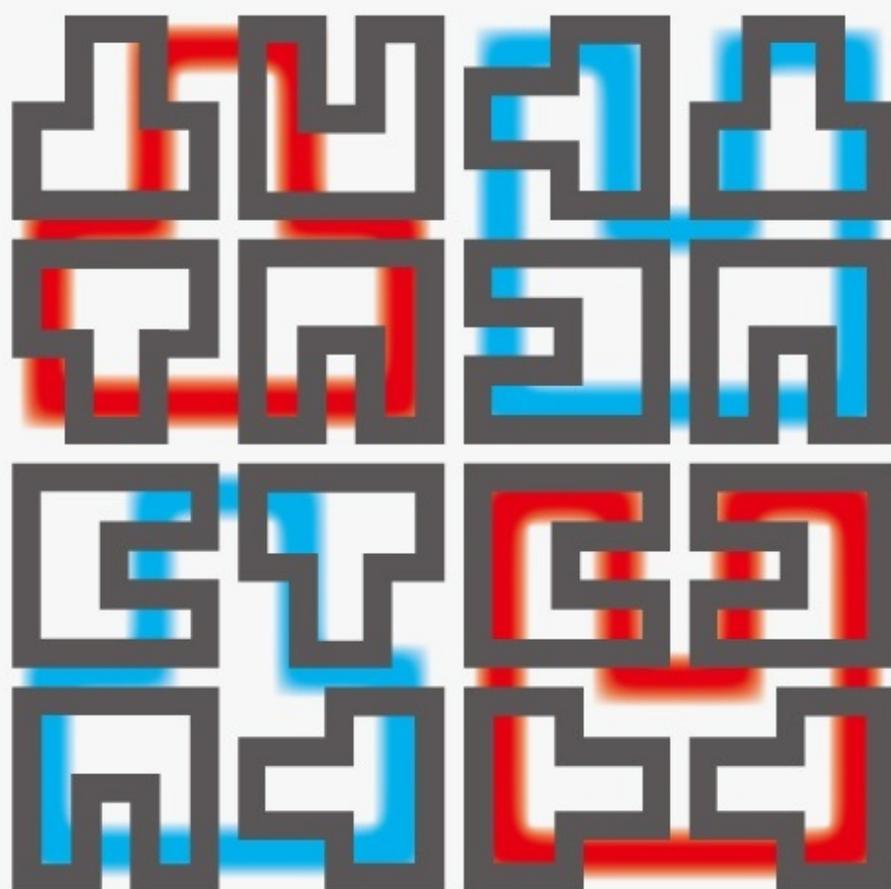


《くにがまえ》《くち》を使って五画の文字を
あなたは何文字が出来ますか。
(加える一画の長さ太さ傾きは任意でお考え下さい)

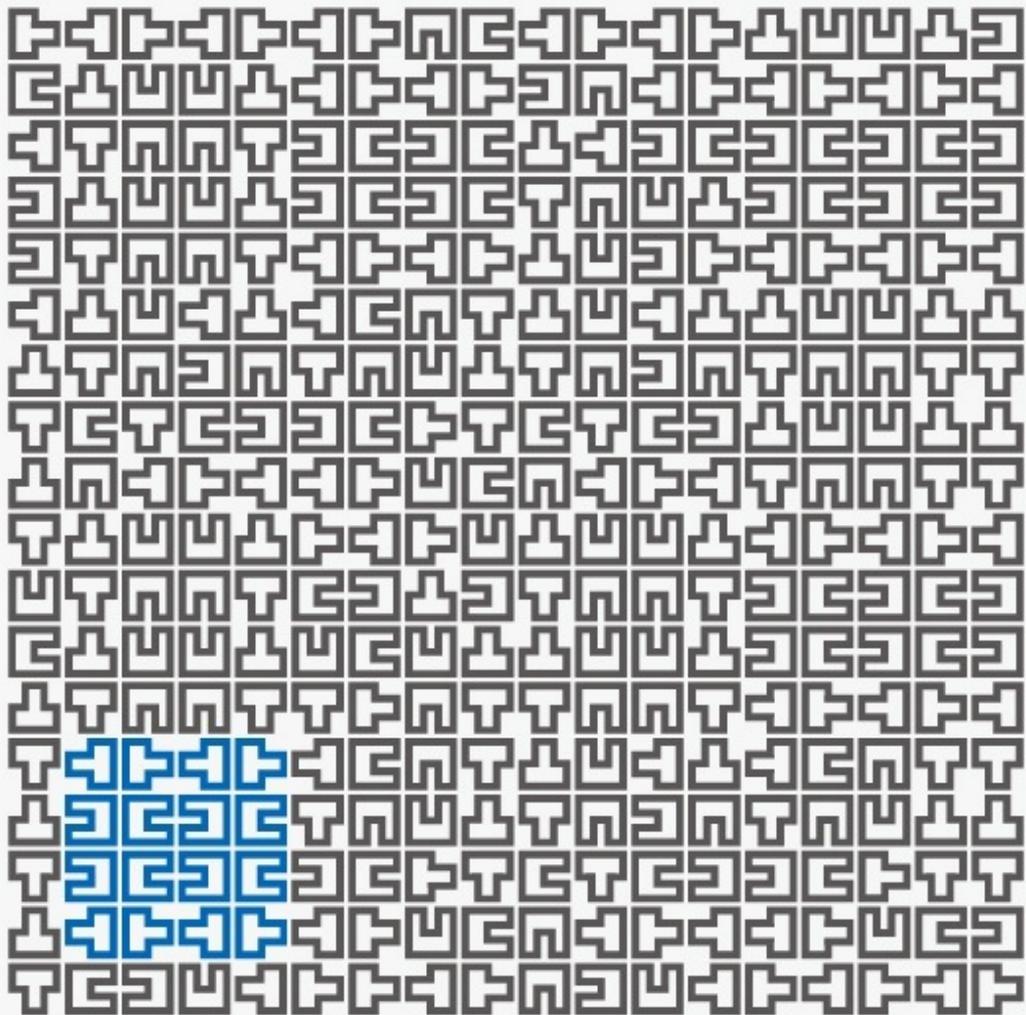


五画の文字の部品を分解して並べました。
いち（横棒X2） ぼう（縦棒X1） の（のX1） てん（点X1）
を使ってあなたは何個の文字が創れますか。

（〔ぼう〕には（はねぼう）を、〔てん〕には（はね）を含んでお考え下さい。
また、それぞれの一画の長さ太さ傾きは任意です）



漢字の中には例えば「卍」のような、
「ほんとうにこれ漢字」と言いたくなる字も多くあります。
「凹／凸」もその一つではないでしょうか。



本物を捜せ！

前ページと同じパターン（4X4面積：青色部大）が隠れています。
本物の範囲を示して下さい。

心 喜 慈 運 悪 気
触 信 念 恩 感 励
悲 知 情 性 覚 愛
憎 報 誠 怒 味 疑
想 哀 徳 苦 意 福
楽 命 祈 望 善 欲

苦 福 悲 祈 苦 運 哀 喜 慈 愛 憎
心 運 哀 念 楽 命 楽 怒 悲 欲 悪

心 情
感 情
福 徳
知 覚
味 覚
触 覚
疑 念
信 心
報 恩
誠 意
善 悪

36ⁿ
広がる組み合わせ

36個の無形の心に関する漢字を集めました。
組み合わせで新しいことばが誕生します。
漢字の持つ特徴の一つです。

山	時	波	林	鳥	海
火	雨	獸	月	雲	石
木	光	水	虫	闇	森
花	暖	星	魚	風	土
陽	雪	寒	地	実	島
空	明	道	谷	草	川

山谷
火山
火花
花草
時空
森林
森鳥
星空
風雪
水虫
闇雲

風雨 雨水 月光 雲海 水魚 土石 寒波 暖地 陽光 明月 花道

36ⁿ
広がる組み合わせ

36個の自然に関する漢字を集めました。
組み合わせで新しいことばが誕生します。
漢字の持つ特徴の一つです。



同じ名前でも漢字はそれぞれ。
ひろしもひろこも多くある名前。でも上のようなカップルは居るのでしょうか。



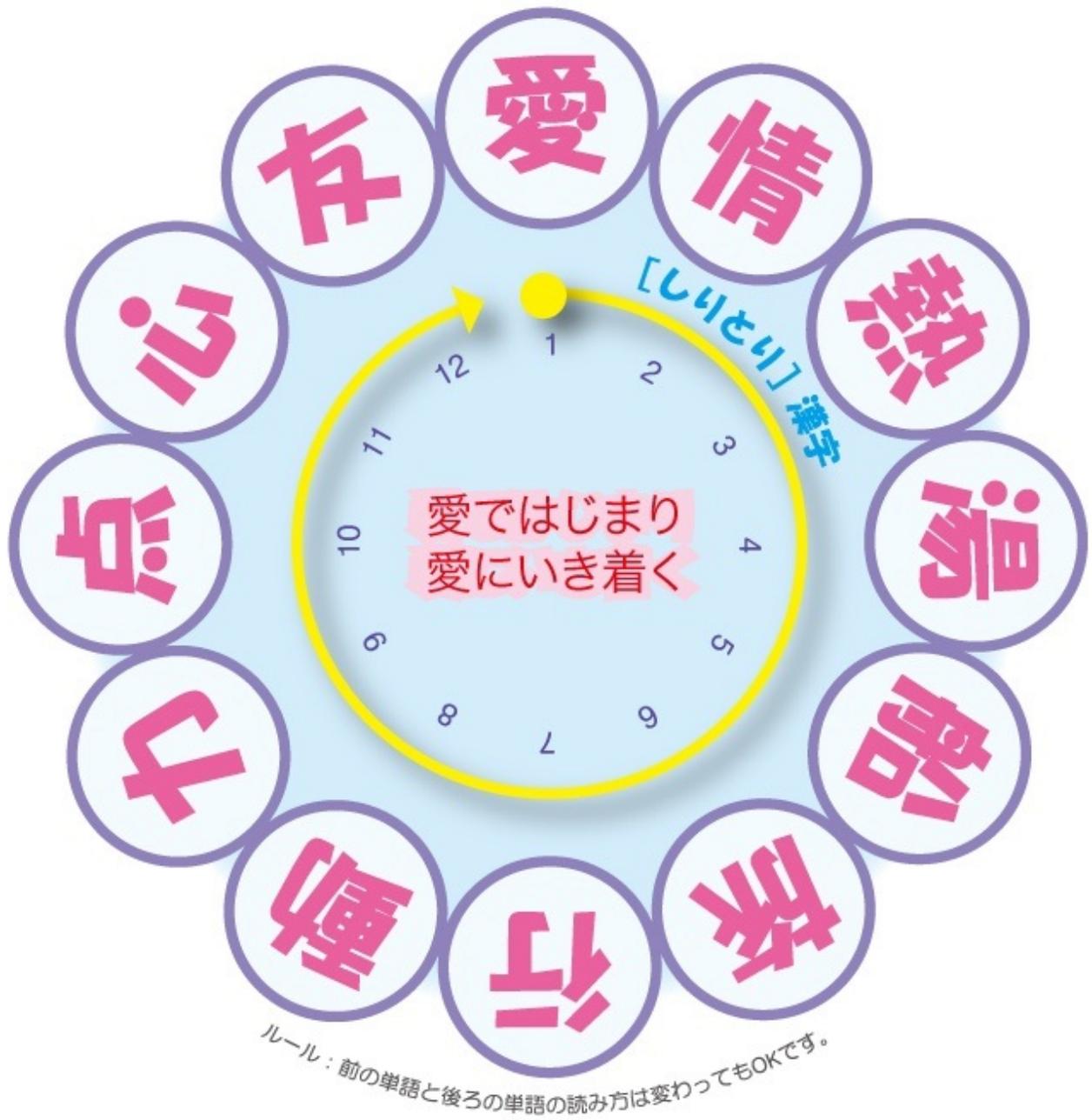
〈改〉はかいの代表漢字。〈革〉はかくの代表漢字です。
漢字は組み合わせによってことばが増える。
かいもかくもそれぞれ仲間はいっぱい。でも仲良し単語は少ないヨ。



上からも、左からも斜からも整合する三文字の「ありそうな苗字」を集めました。
あなたもテーマを設けて さあ！文字選びの旅へどうぞ。
多少の整合の悪さはお互い許しましょう。

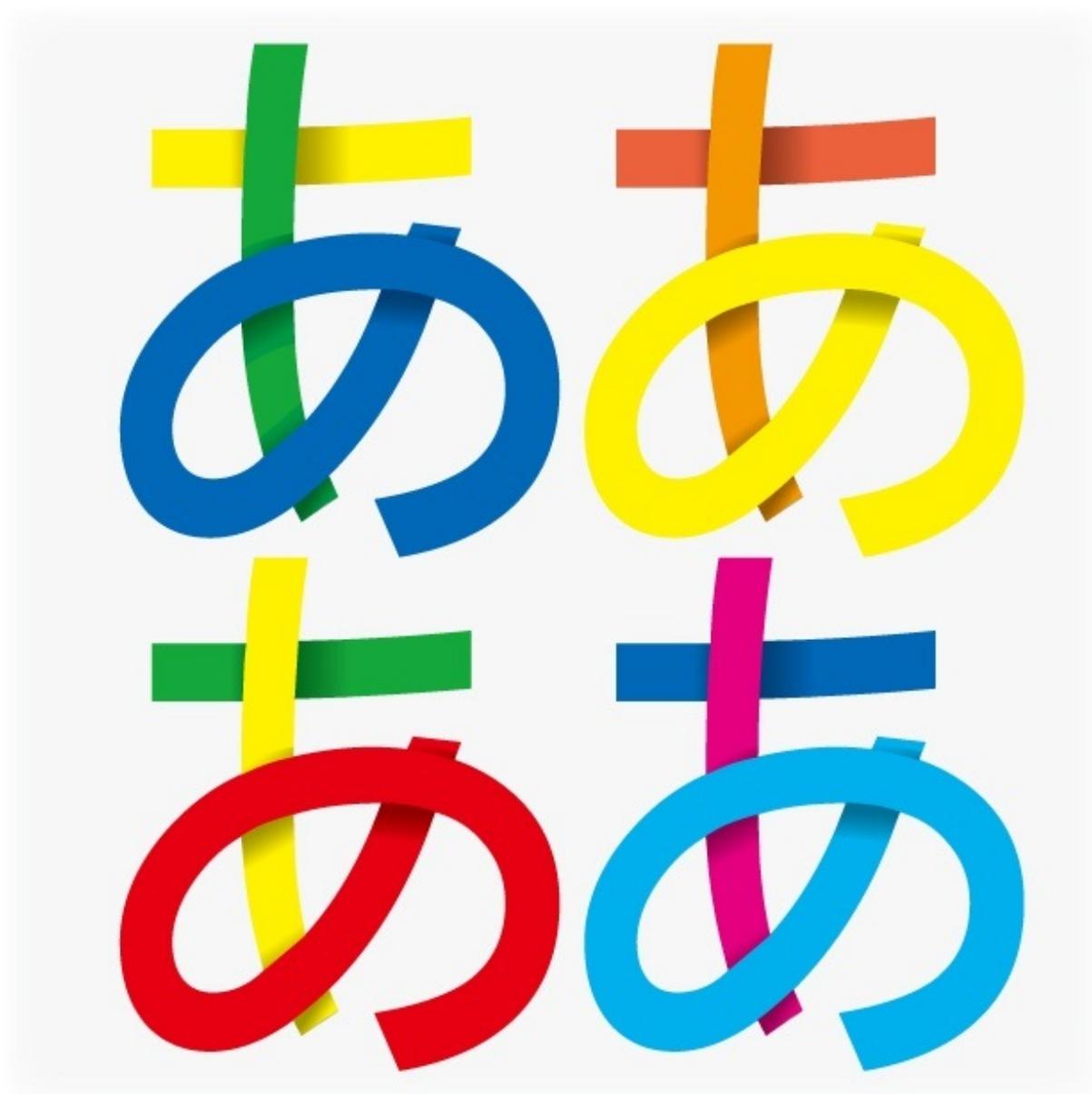


昨今の“女の娘”にありそうななまえを集めました。
さあ一て！ばらけた文字を縦横斜うまくならべて下さい。
多少の整合の悪さはお許しを。



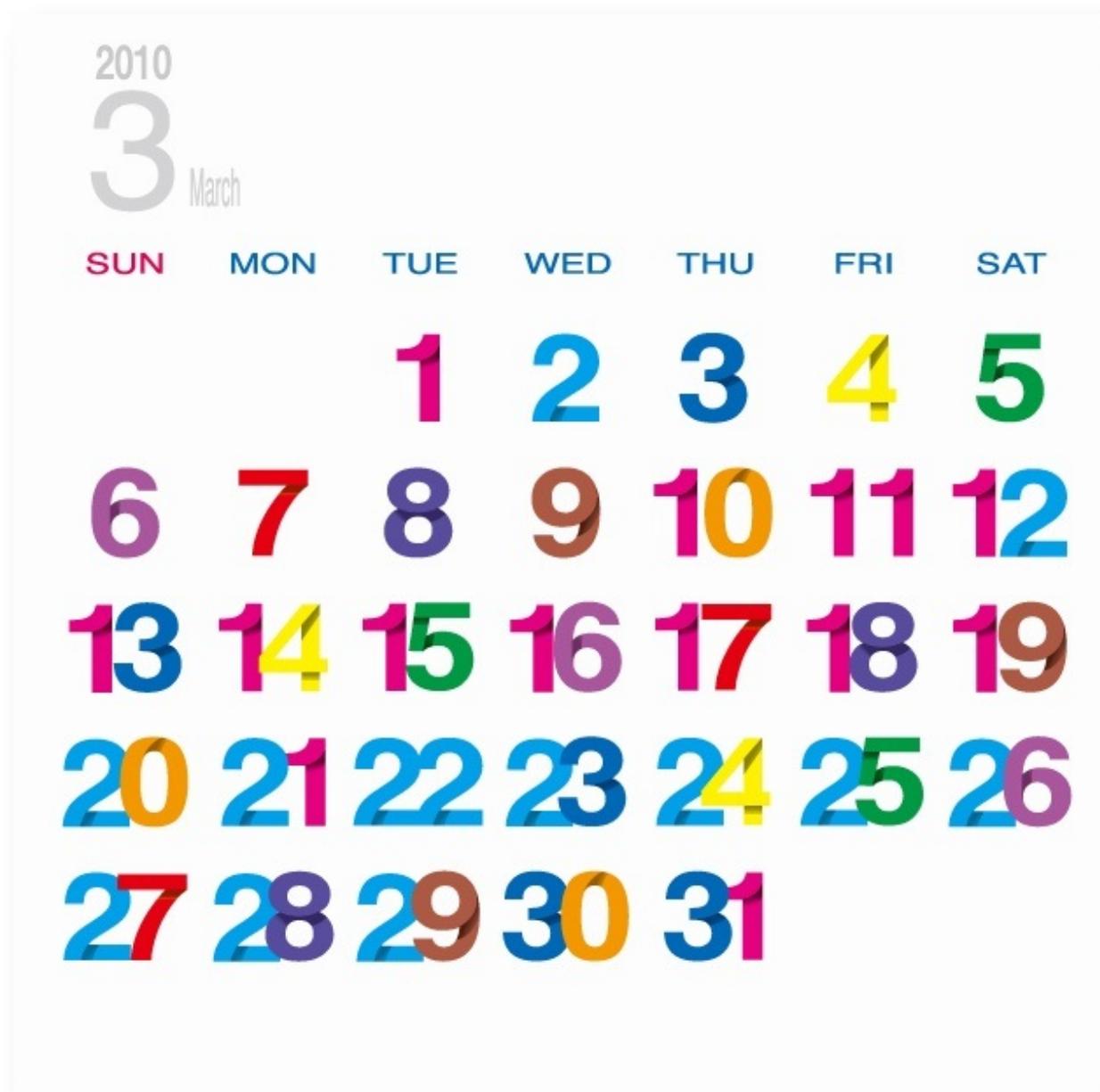


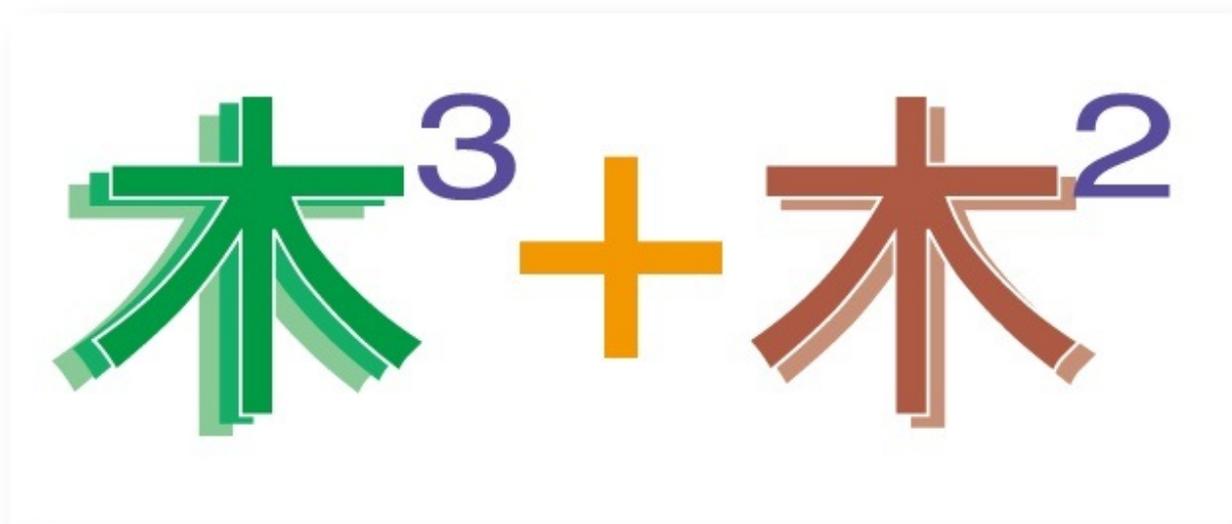
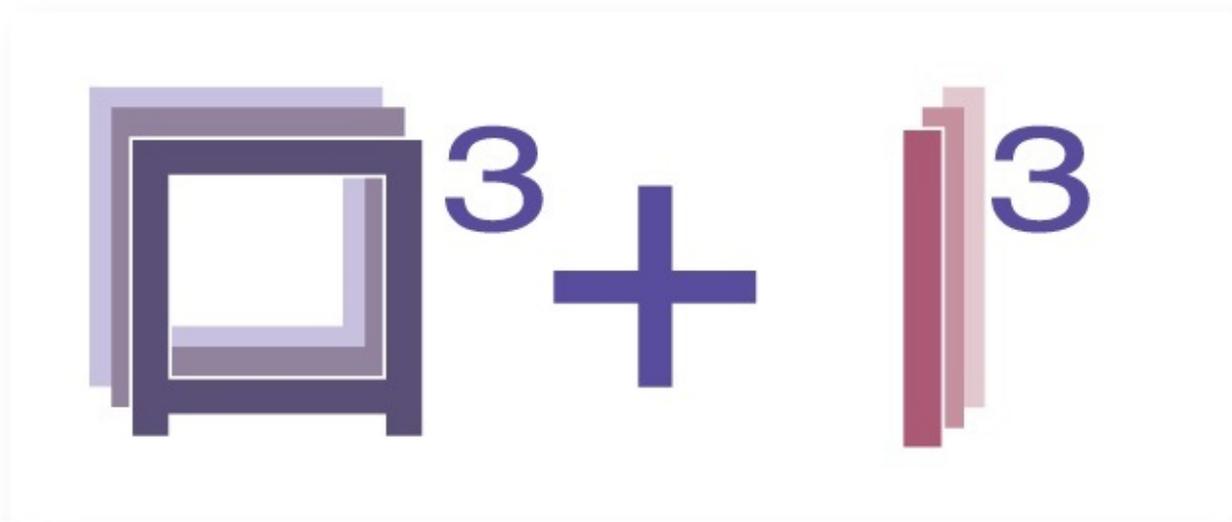




んわらやまはなたさかあ
・ ろりいみひにちしきい
・ うるゆむふぬつすくう
・ ゑれえめへねてせけえ
・ をろよもほのとそこお







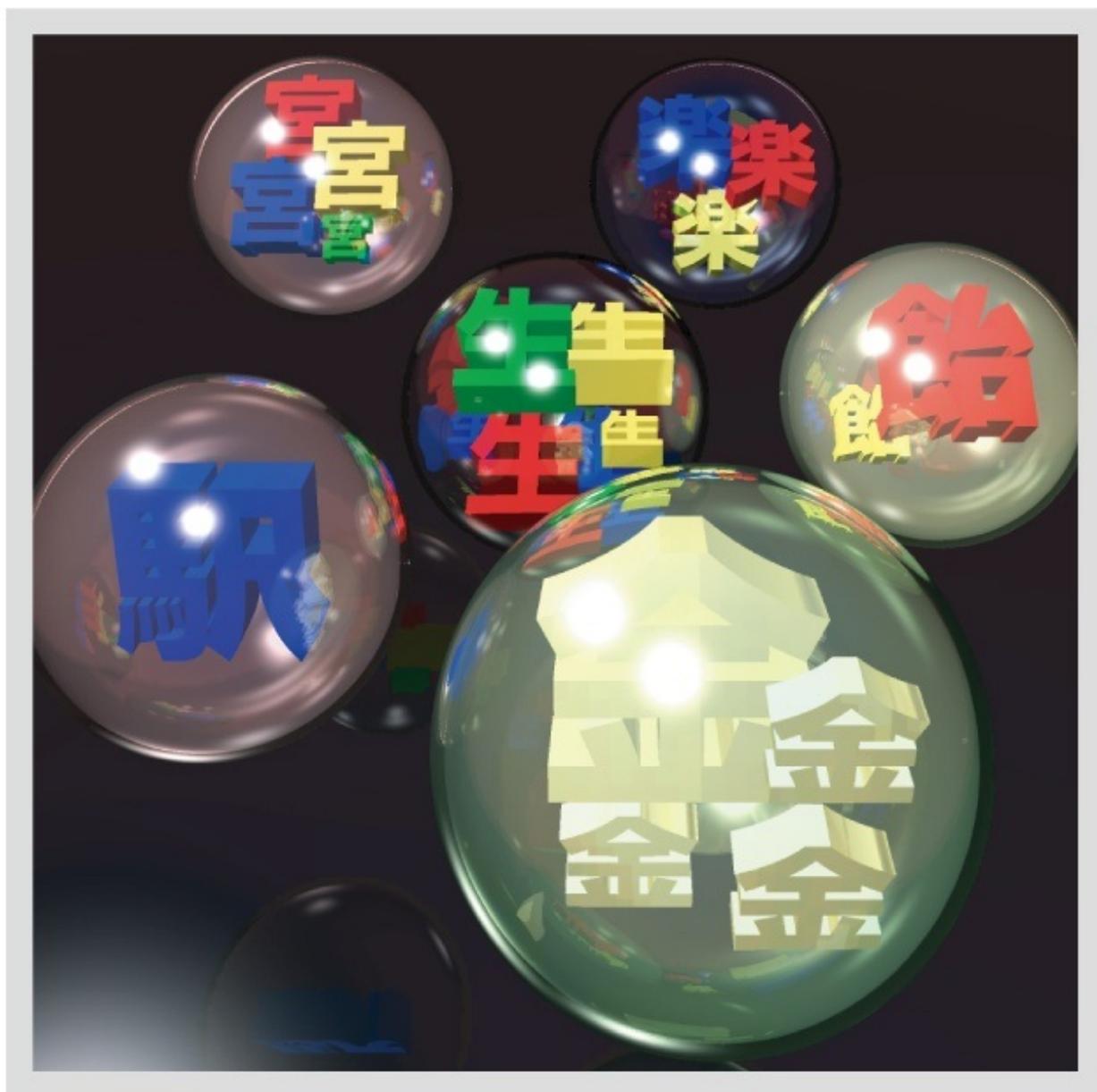
ある単語を分解、数式化しました。さて？読んでみて下さい。

多 圭 昌 棗 炎^{えん}
竹 林 双 棘^{きよく} 川^{かわ}
口 日 木 女 毛^{ぜい}
品 日 林 奴 毛

同じ漢字を繰り返して構成された漢字の一部です。

2つや3つが、横に並んだり、縦に並んだりで構成されていますが、
4個繰り返された漢字は見当たらないようです。

「器」という漢字は大という字を介しての4つではありますが、見慣れた字
の中で珍しい構成の漢字です。「回」も【繰り返し字】ですが繰り返し方の
珍しい漢字です。

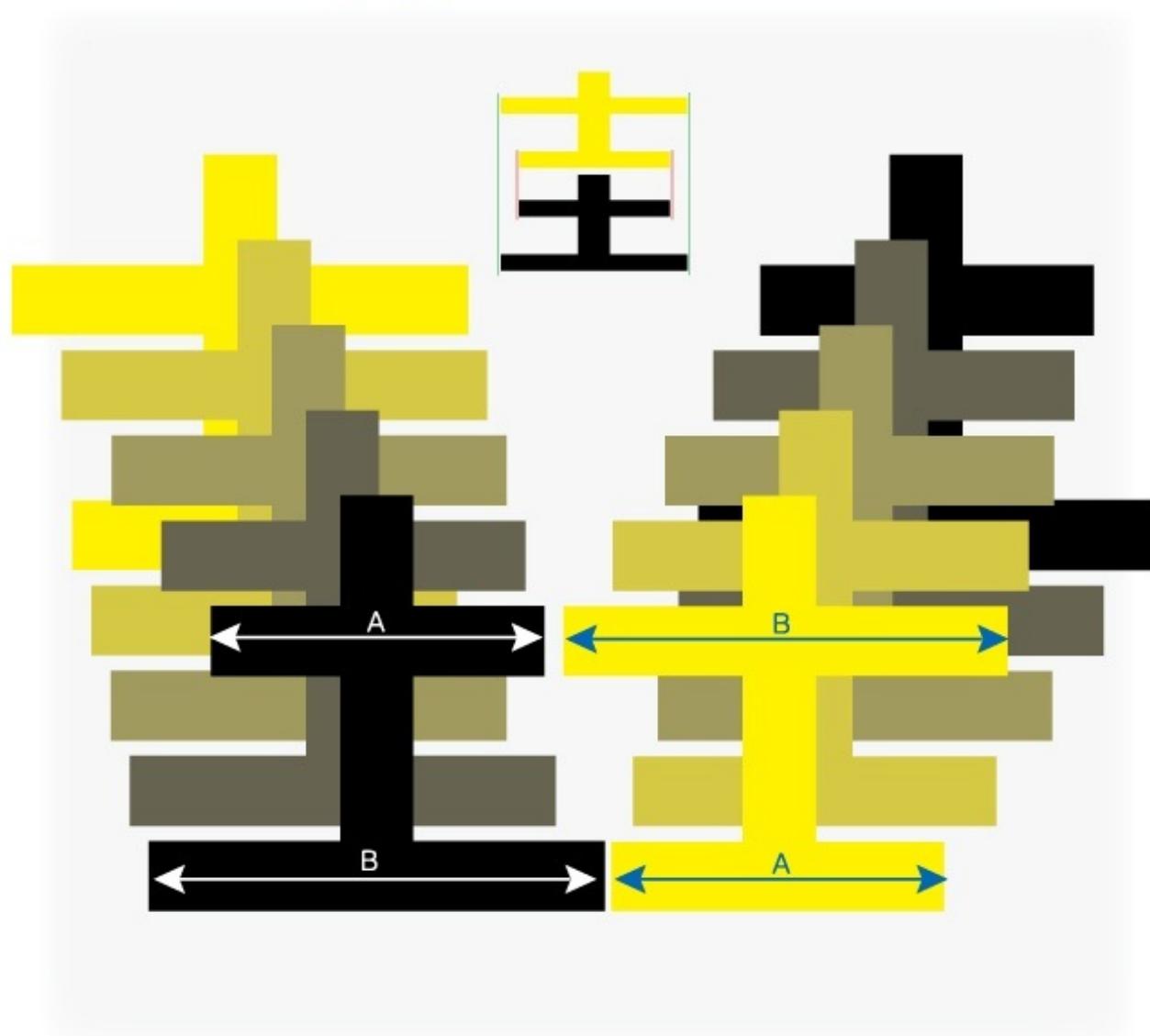


カプセルの中のピースの数の分だけ読み方があります。

駅	エキ	楽	タノしむ ガク ラク	宮	ミヤ キユウ グウ グ
寮	リョウ	流	ナガれる リュウ ル	正	タダしい セイ ショウ マサ
胃	イ	男	オトコ ダン ナン	金	キン コン カネ カナ
	ウマれる ショウ セイ ナマ	生	イきる キ/オ ウブ オイ(たち)		

一つの字に読み方が只一つから三つ四つと〔生〕みたいにさらに多くの読み方をする文字もある。

まぎらわしい2文字



土 土地などの（つち） **士** 武士などの（し）

上下の長さのちがいで全く意味の違う文字になってしまう二字である。
大地は下が安定であるべき、土と付く人物は頭が一応は長ける

まぎらわしい**2**文字



まぎらわしい二つのもじが重なっています。

漢字圏民族のパターン認識のすばらしさに驚かされるばかりである。
ほんの少しの長さ／傾き／位置の違いで
まったく違った意味になってしまいます。

まぎらわしい**2**文字



〔未来〕と〔末期〕、大違いになってしまう。
横棒の長さのわずかな違いで。

まぎらわしい2文字



この二字に生死の一切が含まれている。
瞬間に過去となる**現在**の一瞬の連続の中に。

話
放 離

3文字は共に〈はなす〉と読む。一見かなりの意味の違いを感じるが、
〈話し〉は能動的に言葉を外に向かって〈放つ〉ことであり、
またその言葉は〈離れていく〉のである。

聞効利

3文字は共に〈きく〉と読む。一見かなりの意味の違いを感じるが、
〈聞く〉という行為は受身なことで、外から聞えて来たことで、
何かの〈効果〉と〈利をもたらす〉という根底で同じなのである。

移 写 映

3文字は共に〈うつす〉と読む。

〈写す／映す〉と〈移す〉ではかなりの意味の違いを感じてしまうが、
〈写す〉は写真に代表されるように被写体がカメラのフィルムに映像が〈移動〉することであり。
〈映す〉も水面に景色が映るように〈景色が移動〉するのである。
身と影との如しである。

取 撮 操

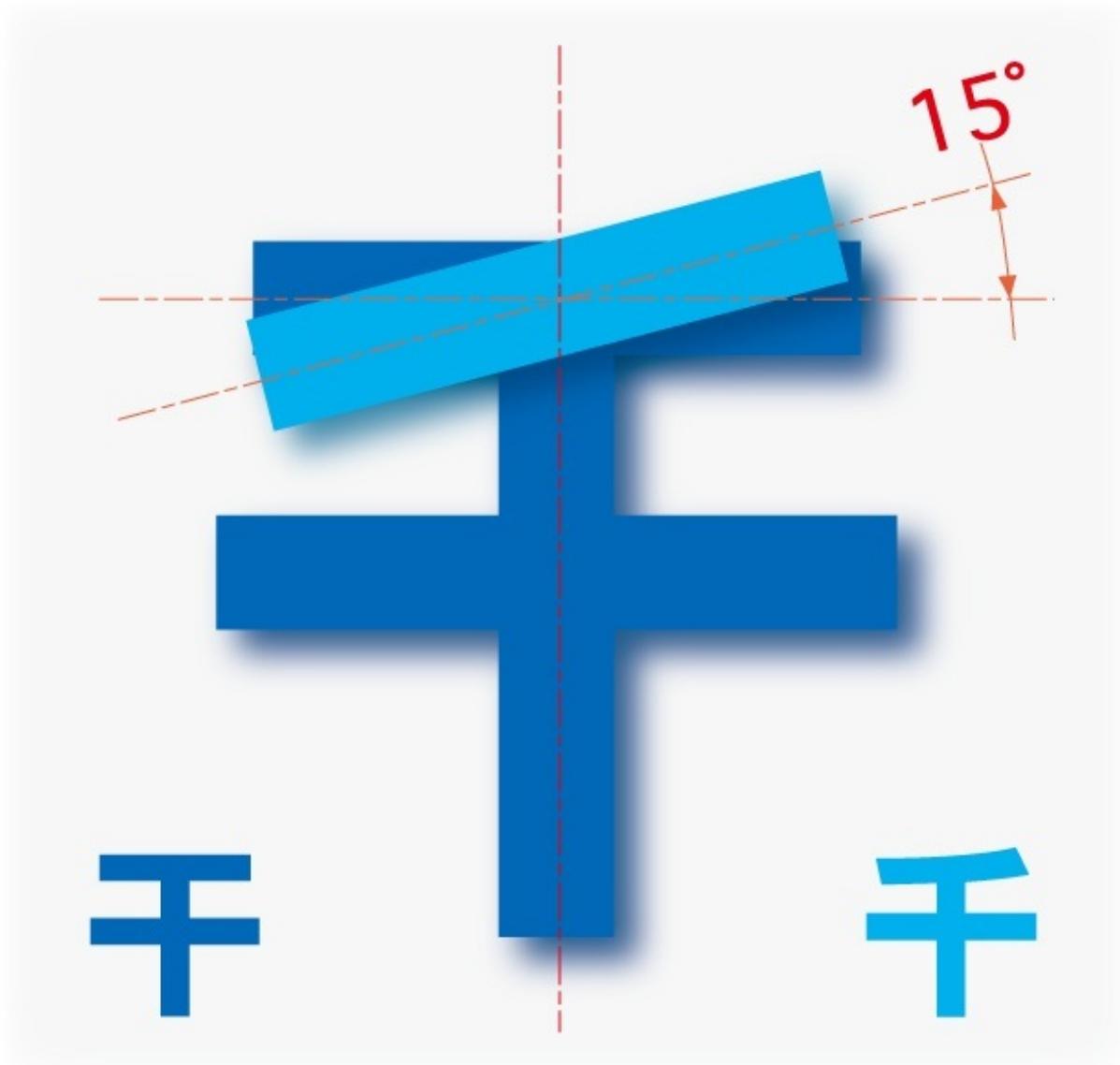
3文字は共に〈とる〉と読む。一見かなりの意味の違いを感じるが、
〈取る〉という行為には取る身にとって不利益なことは想定していないのである。
〈撮る〉も良いところを〈つまみ取る〉意志があり、
〈操る〉もうまく取り扱うという意志が根っこにあるのである

まぎらわしい2文字



前に置かれた一本が【原因】で【困って】います。
縦の一画が増えて全く意味の違う文字になってしまう二字である。

まぎらわしい**2**文字



〔千〕と〔千〕、一画が微妙に傾いて大違い。
世の中、結構少しの違いが人生をも違わせてしまう。
スポーツの記録や芸術の紙一重の違いに人間は一生を賭ける。

魚 鰯 鯖 鰻 鯨
鮪 鰹 鯛 鮒 鱈
鮓 鮠 鱸 鯉 鮒
鮓 鰻 鮎 鱒 鱈
鮫 鯨 鮓 鰻 鰻
鮓 鱈 鱈 鮓 鮓

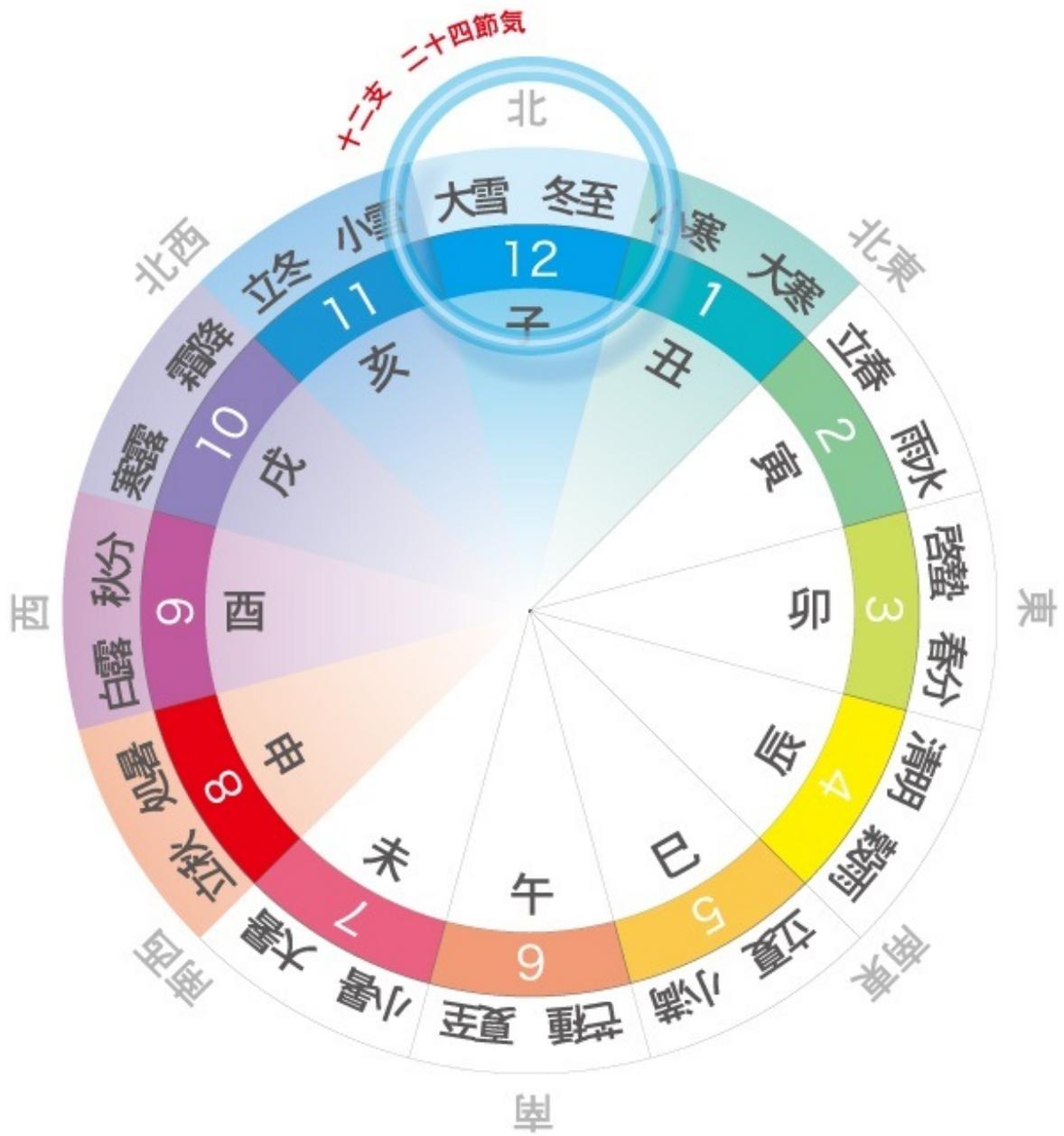
上から右に海の魚、淡水の魚そしてだんだん
魚と言えない〈魚扁〉の漢字を並べました。

さすがに「鰻えび」は「海老」、「鮓たこ」は「蛸」が一般的になっている。

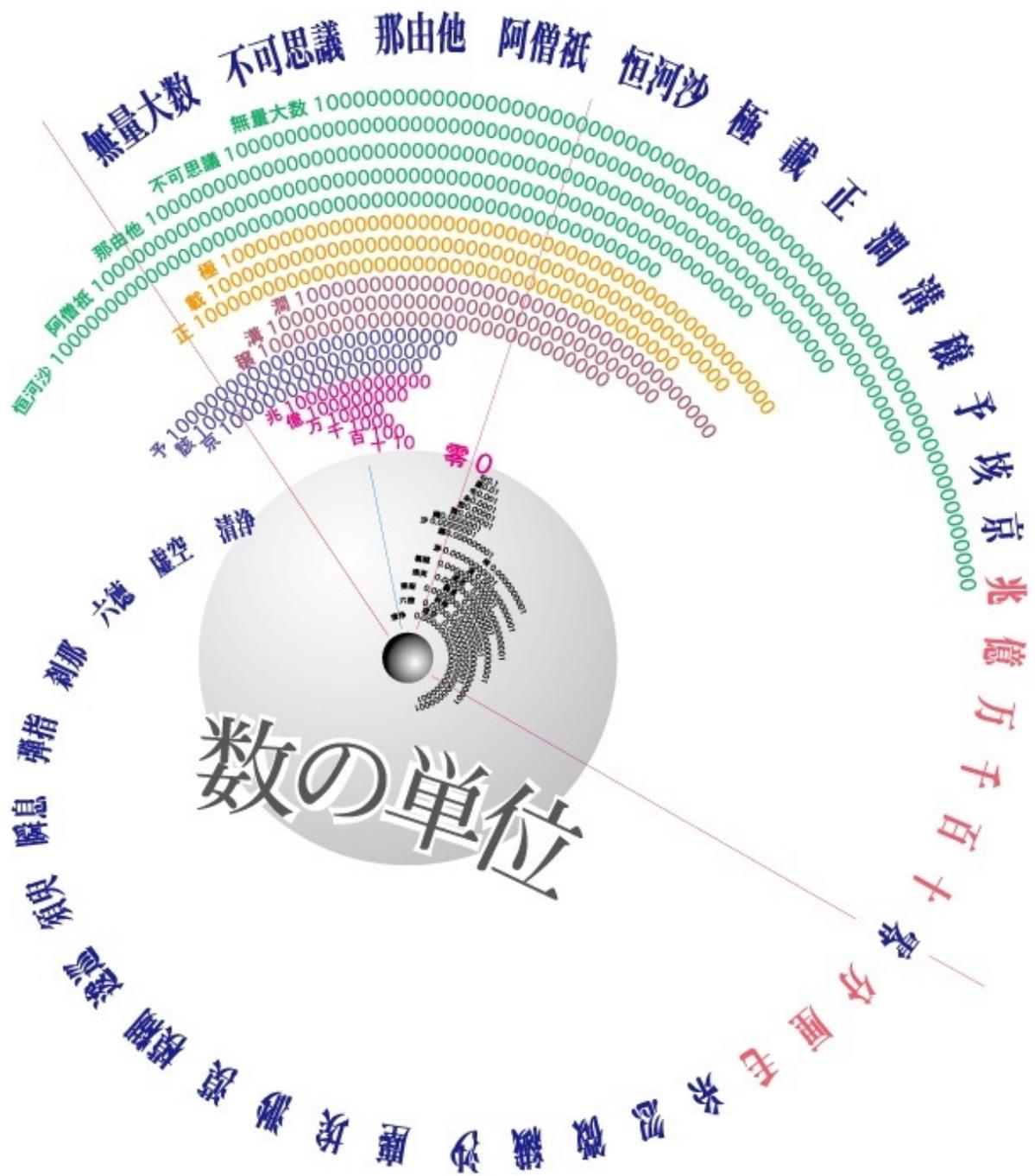


「鯨はぜ」は「沙魚」とも書くが、さかなの漢字は多くは何故か一字で成立している。
「鯨はぜ」はまた〈魚扁〉でなく、〈脚〉の部分に魚がきている。先人が「ハゼ」を素直に仲間に入れなかった現れを感じる。

二十四節氣







10^{68} 無量大数 10^{64} 不可思議 10^{60} 那由他
 10^{56} 阿僧祇 10^{52} 恒河沙 10^{48} 極 10^{44} 載 10^{40} 正
 10^{36} 澗 10^{32} 溝 10^{28} 穰 10^{24} 予 10^{20} 垓 10^{16} 京
 10^{12} 兆 10^8 億 10^4 万 10^3 千 10^2 百 10^1 十

数の単位はどこまでいっても有限である。
その温かなスケールは何を意味するか、
無限を表現したかったのである。

零

マイクロもマクロも無限である。
その意味するところは何か、それは宇宙そして
生命のひとつの表現である。

10^{-1} 分 10^{-2} 厘 10^{-3} 毛

10^{-4} 糸 10^{-5} 忽 10^{-6} 微 10^{-7} 纖 10^{-8} 沙 10^{-9} 塵

10^{10} 埃 10^{11} 渺 10^{12} 漠 10^{13} 模糊 10^{14} 逡巡 10^{15} 須臾

10^{16} 瞬息 10^{17} 彈指 10^{18} 刹那 10^{19} 六德 10^{20} 虚空 10^{21} 清淨



上から・下から 〈ひ〉 にはさまれ

【黒】 = 【日+土+火】

【土】 が上から 〈日〉 に照らされ、下から 〈火〉 に焼かれ 【黒】 となる



[黒] = [日+赤]

西の空、〈日〉が〈真っ赤〉に染まり、やがて〈漆黑〉の間がおとすれる。



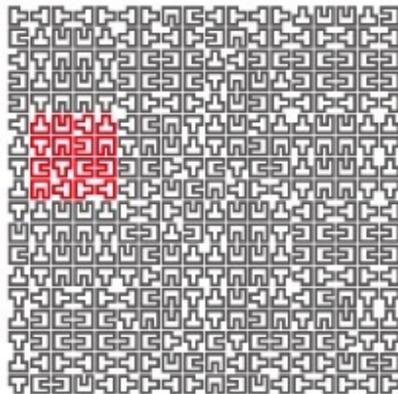
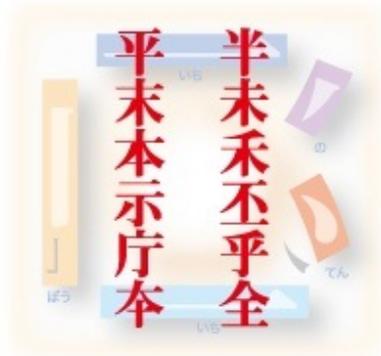
〔辻〕 道路のクロスした十字路



〔波〕は水面の〔皮〕
世間の〈波風〉も表面的。時を待ちましょう。



〔**田**んほ〕と〔**土**〕の〔ふる里〕が
今では道路も増えて立体交差。



$$\square^3 + \text{川}^3 = \text{品川}$$

$$\text{木}^3 + \text{木}^2 = \text{森林}$$



GISUKE OTA

2010年9月8日 初版発行

題名：文字をリードする画本—①

著者：太田義助

発行所：株式会社ウイルデザイン

center@will-design.co.jp

<http://www.will-design.co.jp>

© Gisuke Ota WILLDESIGN Co., Ltd. 2010

